



NEWSLETTER FOR THE JAPANESE  
ASSOCIATION FOR DENTAL RESEARCH  
(JADR)

# 国際歯科研究学会日本部会 会 報

1982— I

5月

## I 第60回IADR大会(ニューオーリンズ)

1. 同学会は3月18日より21日にかけてニューオーリンズ・マリオットホテルにおいて開催された。それに先立って15日と16日には理事会が開催され日本部会の代表として、須賀昭一事務局長が、更に observer として高添一郎前理事が出席した。延べ16時間にわたり極めて熱心な討議が行われた。その内容は近く IADR Report 並びに Journal of Dental Research 紙上で報告される予定である。

## 2. 同学会における日本人の出題状況

プログラムより算出した大学別の出題状況は次の表の如くである。尚、国外の研究者と共同研究の場合、日本人が主演者でその所属が日本の大学である場合のみとした。

### A. ポスター発表

神奈川県大	4
日本歯大	4
東京歯大	3
日大・歯	2
京大	2
阪大・歯	2
日大・松戸歯	1
鶴見大・歯	1
福岡歯大	1
九大・歯	1
城西歯大	1
(株)クラレ	1

計 23

### B. 口頭発表

日大・歯	3
神奈川県大	2
東医歯大	1
北大・歯	1
城西歯大	1
広大・歯	1
大阪歯大	1
愛院大・歯	1

計 11

更に、過去の出題状況との比較を次に示した。

	1979 (ニューオーリンズ)	1981 (シカゴ)	1982 (ニューオーリンズ)
A. 日本の大学所属者による発表			
(1) 口頭発表	5	11	10
(2) ポスター	7	14	24
B. 国外の大学所属者による発表			
(1) 口頭発表	8	11	14
(2) ポスター	6	7	10

(尚、1980年は大阪において開催されたので、本比較から除外してある。)

以上の様に年々出題者数が上昇を示していることは喜ぶべき現象である。特に、ポスター展示での出題数の増加がいちじるしいが、これは学会全体としても見られる傾向で、本年は口頭発表とほぼ同数であると云われている。実際にポスター展示の方法と技術の進歩は著るしく、又、現場での討論は前年よりも明らかに活発の度を増していた。外国語の不得意な日本人研究者にとって、外国の研究者との良き交流の場であると思う。

- 3月18日午前の開会式の席上、各部門のawardの受賞式が行われたが、総山孝雄教授(東京医歯大)がDental Material GroupのWilmer Souder Awardを受賞された。
- 3月20日の午後、総会が開催され、その席上、会長の任がDr. M. U. NylenからDr. A. H. Melcherに引きつがれた。又、President-ElectはフランスのDr. R. M. Frank、Vice-PresidentはカナダのDr. A. R. Ten Cateとなった。

## II JADR 1982年の第1回理事会

3月30日午後2時、日本歯科大学第1会議室

出席者：森 会長、三浦副会長、田熊前会長、須賀事務局長(次期会長)、常光、小西各理事。

- IADRニューオーリンズ大会理事会報告(須賀事務局長)
- 第29回JADR総会(大阪)の事後報告(小西理事)

3. 第30回 JADR 総会(東京)の準備状況の報告(三浦副会長)。
4. 第30回総会開催にあたり三浦副会長を補佐するために、小椋秀亮教授(東医歯大)が理事に就任された。

## Ⅲ 第30回 JADR 総会

期 日 昭和57年12月2日(木), 3日(金)

会 場 東京医科歯科大学5号館講堂

東京都文京区湯島1-5-45 Tel.(03)813-6111

- (1) 演題申し込み締切 9月4日
- (2) 参加者申し込み, 送金締切 9月4日
- (3) 英文抄録締切 9月30日
- (4) 発表形式 Oral presentation

サーキュラーはすでに第30回 JADR 総会係より各会員宛に発送済み。

## Ⅳ 第61回 IADR シドニー大会

期 日 1983年8月1日~4日

場 所 オーストラリア・シドニー市

シドニー・ヒルトンホテル

以上に先立って

第9回 International Conference on Oral Biology (ICOB)が開催される。

期 日 1983年7月29日, 30日

場 所 シドニー・オペラハウス

主題は“Microbiological and Immunological Aspects of Oral Diseases”である。

(以上の2学会については本年11月頃に本部から案内がある予定)

又, IADR 大会に続いて satellite meeting として International Tooth and Bone Resorption Conference が開催される。

期 日 1983年8月4日, 5日

場 所 シドニー・オペラハウス

本 conference の詳細については下記に問合せのこと。

The Secretariat  
International Tooth and Bone Resorption Conference  
Dr. S. A. Cohn  
Suite 301, 60 Park Street  
Sydney, N.S.W. 2000  
AUSTRALIA

#### V IADR 大会開催の将来予定

1983	IADR	8月 1日～ 4日	シドニー
1983	AADR	3月 17日～ 20日	シンシナチ
1984	IADR + AADR	3月 15日～ 18日	グラス
1985	IADR + AADR	3月 20日～ 24日	ラスベガス
1986	IADR	6月 26日～ 28日	ハーグ(オランダ)
1986	AADR	3月 13日～ 16日	ワシントン

#### VI IADR 本部会費の内、1981年度値上げ分未納の方々にお願

すでに(5月はじめ)お手元に IADR 本部事務局よりの手紙がとどいたこと、思いますが、1981年度の値上げ分(学会費のみの場合8ドル、学会費+雑誌購読料の場合16ドル)未納の方は至急、日本円(1ドル=250円)で、同封の銀行振込用紙を用いて JADR 事務局宛に至急お送り下さい。当方でとりまとめて本部まで送ります。

尚、振込みにあたっては同封の振込用紙(口座番号 966,415)を用いて下さい。これは JADR 会費用のものとは違います。

#### VII JADR 会費未納の方々にお願

本年度分ばかりでなく過年度分の会費が未納の方がおられます。至急、すでにお送りした振込用紙(口座番号 944,969)を用いてお送り下さい。これは IADR 本部会費未納分用のものとは口座番号が違いますので御注意下さい。

会費は一年分 2,000円です。

本学会定款の規定により2年以上未納の場合、除名されることとなりますので御注意下さい。

## Ⅷ 本部会費納入について

JADR 会員であり、JADR 会費は納めておられるのですが、本部会費が数年にわたり未納の方が何人かおられます。その様な場合、本部会員から除名されていることがありますので至急おたしかめの上、当方に御連絡下さると共に、あらためて手続をして下さる様お願いいたします。

---

Japanese Association for Dental Research (JADR)

(国際歯科研究学会日本部会)事務局

〒102 東京都千代田区富士見 1-9-20

日本歯科大学歯学部病理学教室内

電話 (03) 261-8311 内線 291, 292